



洋書輸入協会会報

Vol. 31 No. 7 (通巻362号) 1997年7月

理事会報告

7月14日(月)

(一)新理事長代理紹介

中田理事長代理(丸善取締役)の退任にともない、新たに同社取締役の戎井氏が理事長代理に就任し理事長出席のもとに全理事に紹介された。

(二)収支報告

6月分収支について総務委員長より報告があり承認した。

(三)委員会報告

・広報・渉外委員長に中田氏に替わって戎井氏が就任した。

・事業委員長より来年度の東京国際ブックフェアは1月22日～25日に決定したが、洋書輸入協会として従来通り主催者に名を連ねることに問題はないかとの質問があり、全員の賛同を再確認した。

(四)協会会員のPR

書協国際部のPR誌である "An Introduction to Publishing in Japan" の最新版に当協会員の名簿を掲載する件について会員からの提案を受け審議した。

初めての試みでもあり更に詳しく調査を要する点もあるので、決定は理事長に一任した。

海外ニュース

ユーロ通貨導入でドイツ書が値上げ

2002年に予定されているヨーロッパ統一通貨の導入に伴い、ドイツの学術書出版社はその施策にかかる管理費

用をカバーするために書籍の価格値上げを迫られている。書籍販売協会(Börsenverein)内の学術書店グループ(Arbeitsgemeinschaftswissenschaftlicher Sortimentsbuchhandlungen=AWS)の年次会議での課題もまた、この新通貨の問題であった。会議の出席者たちの懸念は、2002年1月にユーロが正式の統一通貨になる3年前からユーロによるインボイス発行および銀行決済を導入せよという欧州共同体(EC)の勧告に集中した。

ドイツの書店および出版社の関心の高さは、出席者数にも表れた。70名以上のAWS会員(書店)に加えて、100名以上の出版社、取次業者、一般書店などが参加した。出席者たちは、統一通貨への過渡期にはドイツマルクおよびユーロ両方による価格設定システムが必要だと主張した。2002年の前半6ヵ月は二つの通貨が正式通貨として流通するから、書店はこれら二つの異なる通貨のために、別々の現金取引用のレジスターを管理せねばならなくなるだろうというのが彼らの言い分だ。

ドイツの経済学者が試算したところでは、統一通貨への移行にかかる営業上の追加コストは、年間売上高の1%から3%に相当するだろうとのことだ。ドイツの経済界で現れてきた共通認識は、これらの追加コストをまかなうため、書籍の価格は上げざるをえないというものだ。

書籍販売協会(Börsenverein)としては、過去10年間の消費者物価の上昇に伴い、書籍価格の安定化がはかれなくなったのだから、書籍の値上げは正当なものであると主張している。

【THE BOOKSELLER JUNE 27, 1997より】

目次

理事会報告	1	文化厚生委員会だより	3	お奨めしたい本	4
海外ニュース	1	お知らせ	3	英語辞書と私	5
米国マーケティング事情	2	うちの会社	4	出版文化史逍遥—西から東—(18)	7
				広告	8

米国マーケティング事情

- Gay and Lesbian Guide to the Web.
- The Writer's Guide to the Internet.
- The Dictionary of Multimedia Terms and Acronyms.
- Fodor's Net-Travel.
- Needlecrafter's Computer Companion.

上に挙げたタイトルの本を販促にかけるとしたら、あなたはそれぞれがどのマーケットに向いていると判断しますか？ あなたの店で売るとしたら、どのコーナーに置きますか？

いささか旧聞に属しますが、“The stunning growth of Internet use has created a unique problem for publishers and booksellers.”なる書き出しで始まる記事が去る2月24日号の PUBLISHERS WEEKLY に載っていました。(By Paul Hilts)。専門家揃いのわがJBIA メンバーにとっては少しも unique problem ではないでしょうが、Hilts によれば、彼の国の sales や promotion の現場では担当者がしばしば paranoia に陥るほどの問題なのだそうです。w. w. w. によってあらゆる事柄 (from aardvarks to zymurgy) が検索出来、Lycos や Yahoo などのサーチエンジンではいかなる主題に分類することも、数百冊の本を含む数万の参考文献を探し出すことも簡単なので、多くの人々がそれを見たがり、コンピュータも出版社もそれがどこを探せば見つかるかを教えようと競って本を出しているが、問題は主題が複合した本に書店のどの部署がかかわるかだ、と言っています。

特定の製品の機能について書かれたハード/ソフト指向のものなら間違いなくコンピュータ書の項に入るでしょうし、上に挙げた “Gay and Lesbian...” のような、人の生き方に関するものはそれに相応しい既存の分野に収まる筈でしょう。しかしそれほどハッキリしたタイトルのものばかりとは限らないようで、実はそのタイトルこそが一種の罠になっているのだそうです。

或る出版人は Hilts の問いに答えて、「販売や仕入の担当者たちは内容を十分吟味する時間がないために即断せざるを得ず、タイトル以外に判断材料はない。例えばタイトルの最初に “Internet” という語がつくと、その本の運命は決まったようなものである。だから “Writer's

Guide to the Internet” 刊行にあたって我々はその語順を逆にしたのである。この本の顧客は恐らくたいいてい書店に以前からある作家コーナーに良く足を運んでいられると思われる。この本の販売がうまく行ったのは、出版過多の感のあるコンピュータ書への分類を避けたからである」と言っています。

一方コンピュータ関連書の専門出版社が、同社が刊行した “The Dictionary of Multimedia...” により出版社自体これまで未知の参考図書出版社にも分類された例があるそうで、別のカテゴリーへのアクセスを促すことが成功の一因になり得るようです。世間一般がこぞってコンピュータとインターネットに熱中していることから、コンピュータ書の出版社は自身と顧客の認識を変えようとしている、とも言っています。

「主題分類」に加えて、「マーケティング」を如何に展開するかが重要で、むしろ分類の問題はマーケティングの過程で解決可能と言い切る人もいます。そして本が良く、マーケティングが適切であればその本は売れる筈だとも言っています。そのマーケティングは型にはまらないことが基本とされ、それは従来の売り込み型から読者引き寄せ型へ変わるべき有力な手法であるという認識が一般化しつつあるようです。“Needlecrafter's Computer Companion” のマーケティングに当たって出版社は人々の情報源がどこに在るかを考えて、縫製業界誌に広告を出し展示会にも参加したそうで、現在の販売成績からみてそのマーケティングは正しかったと評価しているそうです。

出版社や書店の人達が、それぞれの立場で様々な考えのもとに、知恵を絞り、苦闘している有様がうかがえますが、要は本の中身をしっかり吟味すれば、どのカテゴリーに分類すべきかは自ずと答えが得られることであり、より広く市場を見渡して効果的な販促・販売活動を展開することはわが業界の常識でもありますから、それが問題とされることが奇異に感じられます。むしろこの問題はわが国の和書業界に通じるのではないかという気がしますかどうか。

[H. T.]

第30回箱根囲碁会開催される

恒例の同好会の箱根囲碁会（合宿）が7月12日（土）泊—13日（日）に、箱根湯本から土産店の並んだ通りを10分ほど歩いた橋のたもとに日本風な佇まいでそっと建っている「ますとみ旅館」で行われた。30回目である。ここ数年は「ままね湯」でちょっとは知られたこの囲碁旅館、常連になった洋書輸入協会一行を迎えてくれるのがお馴染みの女将の気持ち良く響きわたる大きな声、それがロマンスカーの中で食べたお弁当の満腹感とビールの余韻を何処かへ吹き飛ばしてしまう。新しくできた「露天風呂」は3時から女性用になるので、一斉にゆかたに着替えて飛び込む。さっぱりとした顔つきで、「さて、対局」である。

毎回指導をお願いしている日本棋院の石毛先生（八段）

もすっかり健康を取り戻され、川べりの紫陽花を愛でながら一緒にされた。何時も賞品に、先生の手による素晴らしい「扇」と「色紙」を用意して下さる。その賞品獲得を目指しての盤上の格闘技である。今回の参加者数に対応しオープン戦と言うことになった。因に、内藤さん（極東書店社長）が優勝、賞品を獲得した。本年は初顔合わせがなく、長年の「碁がたき」同士の対局であった。見落として一、二目負けたりすると、顔を合わせるたび毎に「あそこが拙かった、おかしいヨ」などと悔しがる仲良し（？）も多い。

幹事の村山さん（ゲート書房社長）、心温まるお手配に感謝致します。やどで手配してくれた参加賞も最高でした。初心者の方の堀井さん（ミロブックスサービス社長）、頑張りましょう。すぐ指に伝わる「碁石」の感触が堪らなくなる筈です。ご寄付をくださった方々に参加した会員を代表して心より御礼申し上げます。当会発展のために会員全員で頑張ります。（RA 記）



お知らせ

◎(株) キャリア・デベロプメント・インタナショナル
の代表者が下記の通り変わりました（1997年6月末）

退任：代表取締役社長 高橋敏夫

新任：代表取締役専務 星 寛

◎次の通り移転通知がありましたのでお知らせします。

●ペンギン・ブックス・ジャパン（株）

新住所：〒112 東京都文京区後楽2—3—25
金子ビル

（Tel. Fax 共変更なし）

●(株) プレンティスホール出版

〒160

新住所：東京都新宿区西新宿8—14—24
西新宿KFビル101

（Tel. Fax 共変更なし）

オーヴィス株式会社

当社は1972年に理工学の書籍及び雑誌の販売を業務とする会社を設立、京阪神地区にて営業をしてきました。

幸い、主要企業や大学等の顧客に恵まれ、且つ比較的经济状況に左右される事なく、少人数乍ら着実な歩みをして参りました。

近来は新しい情報と媒体を求められ、インターネットに基づくメディアの変化に依り、我々のビジネスも方向づけが問題と考えておりました処、偶々、実践経営総合研究所々長小倉徳彦氏の書かれた記事を拝見致しました。

情報化社会では「御用聞き営業」が大切な時代「マ

スマーケティング」に代わり個々の顧客のニーズに合わせた「マン・ツー・マン・マーケティング」が主流となり、顧客の求めに応じ、直接要望を聞き、ニーズを的確に入手する事が大切とあり、吾が意を得たり

の思いを深くしました。
従来より少人数での業務は小回りをモットーとして来たことで、このところの新旧の波が交錯する中に於いて従業員一同が感性をみがき、知恵を絞る、ニーズに答えられるよう努力を積み重ねて、厳しい時代を乗り越えてゆきたいと考えて居る次第でございます。

(大竹亘)

お奨めしたい本

『図説 本と人の歴史事典』

高宮利行・原田範行(1997)(柏書房) 8,900円

中世ヨーロッパにおける写本から活版印刷の発明と発展の時代と続き、20世紀初頭に至るまでの1,500年間の書物の歴史を綴る本書は単なる通史的な解説書ではなく、書物の生産に携わり、その流通にかかわったさまざまな人々の姿を文化的に解明している。

「ペンと文字」「写本と写字生」「印刷と製本」「ミネルヴァのいる場所」「本と人々」「学校と図書館」「本をめぐる」の7章131項目には、著者・羊皮紙工房の職人・修道院の学僧・写字生・写本装飾師・製本工・印刷工・製紙業者・出版人・書籍商・図書館・愛書家・偽書作家など、本をめぐる多種多彩な人物が登場する。それを見るとき、書物は正に人類の文化そのものであることをつくづくと感じさせられる。

さらに特徴的なことは、400点にのぼる豊富な図版が採録され、その挿絵と文章が一体となって書物文化史を構築している。例えば、「印刷と製本」の章に含まれている「初期の印刷所」には銅版画で1580年頃の活版印刷所の様子が描かれているが、それは単なる印刷所風景ではなく、事業体の仕組みとそこに働く人々

の姿を伝えてくれる。植字工が組版を製作し、印刷工が印刷機を操作し刷り上がった紙は紐に掛けて乾燥する。眼鏡をかけた校正者が印刷面をチェックし上級植字工が組版を訂正する。入口を通して町の建物が見え、そこから紙が運び込まれ台に積み上げられる。これらの作業全体に経営者が目を配って手順を指示する。このように、この図版から著者の鋭い観察と分析によって16世紀末の印刷所の実態が生き生きとよみがえる。そして、本書全編にわたり図版と文章が両輪となって記述が進められている。

付け加えると、「本をめぐる」という章に書物に関連した著名な歴史的出来事、エピソードを満載して、有益で楽しい話題を提供しているが、その中に日本人として初めてグーテンベルグ聖書を実見した福沢諭吉の逸話なども記されていることを紹介しておく。

本書は、出版文化を生み出し支えた人々の事績が、単に言葉によって抽象的に理解されるのではなく、図象を通してより鮮明に、また具体的に吸収できるよう意図して編纂・執筆されている。現代に遺された貴重な図象のもつ意味、それらの図象が語る歴史を本書は克明に教えてくれる。正に「書物の図像学」ともいえるユニークな本である。

(丸善・Y.S.)

英語辞書と私

島岡 丘

英語力は辞書の引く回数に比例する、とも言われるほど、英語学習の過程で辞書が大事な役割をもっている。私の中学1年生の時のことである。同級生の阿部君が岩崎民平先生の編集された『簡約英和辞典』（研究社）を間違って買ってしまったので、私に買ってほしいとせがまれた。母に相談したら、辞典は必要だから買っていいと言って、4円80銭をすぐに出してくれた。当時はまわりがみんな貧乏で、4円80銭の金額はとても大金だった。私はその意識があったので、大事にその辞書を高校を卒業するまでの6年間使ったところ、紙が綿のようにふわふわになり、また破れた頁は、母が黙って継ぎをあててくれた。

私は『簡約英和辞典』が大好きだった。活字が大きくて見やすいこと、同意語がかっこ内に excellent (=very good) のような形で示されており、一つの単語を引いても同意語も覚えられること、また、頁を開けると新鮮なバラのような香りがただよってきたなど、なつかしい思い出である。

しかし、東京教育大学の英文科では、COD を徹底的に引くように指導を受けた。担当の教授は英語史の研究で有名な広瀬泰三先生だった。授業では先生は教室には、Oliver Goldsmith の “The Vicar of Wakefield” のテキスト1冊しか持ちこまれない。先生は学生と真剣勝負をする気構えであった。われわれが COD を徹底して調べてきても先生には歯が立たなかった。勉強の奥深さを知ったのは大学に入ってからであった。福原麟太郎先生はご自分で、おそらく POD は私が最もよく引いていると『英語教育講座』（研究社）に書かれ、POD には、イギリスの文化が反映している多くの例を掲げられてあった。例えば、dog は man's companion であること、March は strong wind の月であること、月の名前は神話から来ているが、その説明が辞書にあることなどを知った。その後、POD も COD も版を重ねる度に文化背景の情報が少なくなり、機能的な情報の記載に傾いていったのはよかったのかどうか。私自身は少し残念な気がしている。

高校に就職して3年目にサンフランシスコ州立大学に留学することになったが、その間、構造言語学に詳しい Womack 教授は Merriam Webster の辞典が the best

であると言って留学生たちにすすめた。この辞書は活字が小さくまた例文も少なかったが、定義がすばらしく充実しており、英文を読んでわからなかったことがこの辞書のおかげで氷解したことが少なくない。その後 Webster の名前がつく辞典が次々に出版され、そのうちのいくつかは『学燈』に紹介したが、新しい変化と新しい情報に敏感に対応することを基本方針として編集していることに感心している。

1995年は英英辞書が4点ほど同じ頃に出版され、あまりにも競争がはげしいので、“dictionary war” と巷で言われた。COBUILD, OALD, LDCE それに CIDE である。それぞれの辞書には一長一短があるものだが、CIDE は私にとってとてもよい学習辞典であるように思われ、また英語教育の改善につながると思ったので、書評などを英語教育関係の月刊誌に掲載した。その良い点を箇条書きにすると次のようになる。

1. 発音記号に音節間の切れ図を・で表示した。
例: English [ˈɪŋ·ɡlɪʃ], Scotland [ˈskɒt·lənd]
2. イディオムの索引に強弱の印をつけた。
例: It's as □easy as AB■C.
3. 定義するのに定義語を2000語弱にした。
4. 定義語に説明力のある語、および、語を説明するいわゆる文法用語を入れた。
例: 「乗り物」にあたる vehicle, 「素材」にあたる substance, 「物体」にあたる object, 「気体・固体・液体」にあたる air, solid, liquid, 「入れ物」にあたる container, 「構造物」にあたる structure, 「食事」にあたる meal, 「哺乳動物」にあたる mammal, その他、文法用語には8品詞の名称はもちろんのこと、auxiliary, infinitive, predeterminer などまで入れている。
5. 文法・語法情報は所々にまとめて読み物としている。
例: American spelling, Sexist language, Varieties of English など。
6. イラストは集合図方式としている。
例: containers には BAG, PACKET, CARTON, JAR, TUB, CRATE, BARREL, DRUM, CAN/TIN, POT, PAN を見出しとし、それぞれの具体的な品物を図で示している。
7. 例文に新鮮な興味深いものが多い。
情報豊かなケンブリッジ・コーパスから選んでい

るので意味を例示する適例が載っている。

8. 定義の方法に、素材、特徴、用途の順にしている。

例: key を定義するのに、

key の材質は何か: a piece of metal

key の特徴は何か: it has been cut into a special shape

key の社会的機能は何か: it locks a door, starts an engine, etc.

key の定義をまとめると次のようになる。

a piece of metal that has been cut into a special shape for locking a door, starting an engine, etc. (前号参照)

9. 一語一義主義をとっているので、意味が把握しやすい。

例: accommodate は find a place for の意味と suit の二つの意味に分かれることが Guide Word (意味の案内版) で示されており 2 語扱いとなっているので、わかりやすい (前号参照)。

10. 例文が豊富なので、それらを見ることによって、日本語の適訳が自ずと浮かび上がってくる。

11. 行数が 5 行毎に表示してあり、検索や教室使用に便利がよい。

以上のように英英辞書には多くの利点があるので、これを英語教育に生かす方法はないかどうかを考えた。そこで、大学の授業で 1 年かけて、テキストをいっさい使わず、専ら英英辞書を使って授業を行い、学生の反応を見たところ、幸い好評だったので、講読の授業でもその一部を割いて英英辞書の入門的な指導を試みた。

その結果、自分なりに感じたのは、英和方式 (英語の新語→日本語訳) の翻訳操作をすることばかりだと、英語話者がもつ感性が育たないのではないかということである。例えば、milk という簡単な言葉でも、すぐ「牛乳」と訳して終わってしまうと、「母乳」や「ヤギの乳」などを考慮外に置いてしまい、日本語の中で日本語話者の感性で理解することになり、英語としての感性は培われない。CIDE の定義では

the white liquid produced by female mammals as food for their young

となって、正確な定義と情報が得られる。哺乳動物の意味の mammal を使うことによって人間と動物をともに含めることができる。また、female は「雌」と「女性」の二つの意味を持つ。female friend、female

professor などで、female に違和感があるうちは英語の感性がまだ揺れていることになる。

これまでの英語の授業は年間 1～3 冊テキストを読むだけで、辞典にある多くの意味を到底カバーし得ないのが実情であった。辞典を副次的な扱いでなく、定義や例文などを詳しく読むことが必要ではないだろうか。

もう、絶版になって久しいが、OED を絶えず参照しながら、『オックスフォードカラー大英和辞典』(全 8 巻) を翻訳共同作業を行ったことはなつかしい思い出である。一つの単語でもいくつもの意味に使われていることを知り、英語の授業が今のように百頁前後の教科書を一年間かけて読むだけでは英語の基礎力の一部しか身につかないのではないかと思った。現在オーラルコミュニケーション (OC) を中心の授業に取り組んでいる中学高校が多い。しかし、

Milk is 「牛乳」 in Japanese.

あるいは

Milk is called 「牛乳」 in our mother tongue.

などのように英語をなるべく多く使うというのを OC の授業というのは、単にラベル貼りのことで英語の感性は養われない。語義を正確に把握し、感性を育てることはテキストにある特定の文脈における「適訳」を考えさせることと同様に重要なことである。

感性はことばの音声と結びついているのかそれとも文字列と結びついているのか。基本的には、音声と結びついている場合のほうが多いように思う。英語の正しい発音を音節の切れ目を確認し強弱拍子のリズムですすめたい。

英和辞書の発音記号はすべてアクセントのある母音の真上に記してあるが、この方式は音節の切れ目がはっきりしないという問題がある。特に、音節頭に子音連結があると、その途中に母音を挿入しがちである。

be'tween, de'stroy, con'tribute

などのように発音記号に表示すれば、もっと英語らしく発音できるのではないかと思っている。発音記号と綴り字については次回にでも取り上げ、読者と共に考えてみたい。

(茨城キリスト教大学教授)

英語辞書の歴史—ジョンソン・ウェブスター・OED—(9)

丸善・本の図書館 鈴木 陽 二

◆「辞書戦争」とウェブスター辞書改版の歴史(1)

ウェブスターの『アメリカ大辞典』の簡略版を編纂したウスターは、彼自身かねてより独自に辞書の編集を進めていたのであるが、それは1830年に『詳解英語発音解説辞典』(Comprehensive Pronouncing and Explanatory Dictionary of the English Language)となって刊行された。これに対してウェブスターは彼の大辞典を剽窃したものだと非難したが、これはもちろん事実無根のことであった。この辞書は400ページ、4万3千語で、語源は収録しなかったが発音記述は異説を示すなど、幾つかの点でウェブスターよりも優れたものになった。

この辞書の出版に接したウェブスターは、80歳を越える高齢であったにもかかわらず息子のウィリアムを助手にして大辞典の改訂を始めた。初版の本文を部分的に修正したうえ数千の新語を加えたほか、特徴的なことは、科学用語の正確性を期するためにニューヘーヴン医科大学のウィリアム・タリー教授に委嘱して定義の改良を行ったことであった。辞書編纂に言語学者以外の専門家を起用した初めての試みとして画期的なことであった。こうして1841年に生まれた2nd Edition (2 Vols.)は、一般に“Webster's Unabridged”として知られるようになり、またこの表示がタイトルに初めて使用された辞書となった。そして、今日でも『国際版 第3版』に使用されているのを見ることができる。

この辞書は、初版の売行き不振を反省して価格を15ドルと低く設定したが、それでも一般には高価すぎて相変わらず売行きは芳しくなく、1843年にウェブスターが死亡したときには膨大な未製本シートが残された。しかし彼の遺族はこれを製本する資力はなく、紆余曲折して最終的には1843年にアマストで営業中の出版社「メリアム兄弟社」(G. & C. Merriam)が出版権と在庫を取得した。そしてこれ以降、メリアム社がウェブスター辞書の正統な出版社として今日に至っている。メリアム社はジョージとチャールズという兄弟が、1831年にマサチューセッツのスプリングフィールドで印刷所兼書店を開設したことに始まる。創業後、ウェブスターの権利を取得するまでの10年ほどのあいだに印刷業とともに教科書・聖

書・法律書などの販売でも活躍していた会社であった。

さて、一方のウスターは、1846年に『普遍的批判的英語辞典』(Universal and Critical Dictionary of the English Language)を上梓したが、これは、イギリスの伝統重視という彼の基本的方針に基づいて編集されたもので、保守的な学者の多かった当時のアメリカにおいて、むしろウェブスターよりも好評であった。見出し語83,000のこの辞書には、発音、伝統的な英文法、古用法と方言およびアメリカ語法、辞書と百科事典の目録などを含み、正書法についても断定的なものではなく、ジョンソンからの変遷と、それが現在でも変化が進行していることを注付けしている。

このウスター辞書の刊行を受けたメリアム社は、1841年版の“Unabridged”を、ウェブスターの女婿ジョーンシー・グッドリッチ教授を編集者として改定を行うことにした。この改定は抜本的とはいえなかったが、グッドリッチは専門語についてはエール大学の専門学者を動員して語の定義を委嘱し、見出し語1万語追加して85,000語とし、ウェブスター考案の改良スペリングはすべて伝統的なものに戻した。こうして、1847年に発売され、大きな反響を獲得した。この辞書は、数あるウェブスターの名前を冠した辞書の中で、正統性を証する“Merriam-Webster”辞書の始祖となったものである。

この後、ウスターは“A Pronouncing, Explanatory and Synonymous Dictionary”を1855年に、ウェブスターは1859年に“Pictorial Edition”をそれぞれ刊行するなど「辞書戦争」はますます白熱化していったが、1860年に刊行されたウスターの“A Dictionary of English Language”は彼の生涯で最高の辞書であったばかりではなく、内容的にはウェブスターを凌駕する優れたものであった。見出し語104,000語、ウェブスターより充実した発音表記、語義記述のわかりやすさ、用例の多いこと、語源記述の適切さ、類義語の意味の区別の説明などの新しい試みを加えて、発行されるやジョンソン以来の最高の辞書として喝采を博した。〔参照図書：小島義郎『英語辞書物語』／永嶋大典『英米の辞書／ランドウ『辞書学のすべて』／稲村松雄『青表紙の奇蹟』〕

ASM より CD-ROM 版発刊!(Windows 版/Mac 版)

HANDBOOK OF Ternary Alloy Phase Diagrams

Edited by : Hiroaki Okamoto, Pierre Villars, Alan Prince
1997 年 7 月刊

1995年5月に刊行された、全10巻、13,808ページの書籍版 Handbook of Ternary Alloy Phase Diagrams (P.Villars, A.Prince, H.Okamoto 編) は、三元系合金状態図および結晶構造に関する文献を徹底的に調査し整理した貴重なデータ集として、全世界の大学、研究所等において研究、開発に携わる方々からご好評をいただいております。

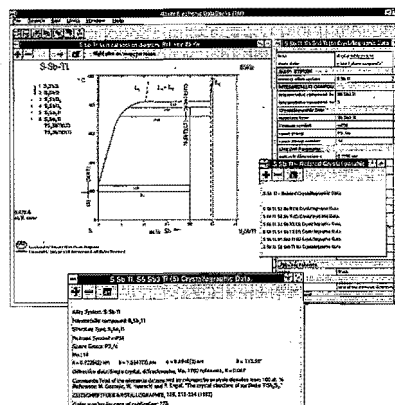
しかし、収録された情報量が膨大なため、例えばある特定の結晶構造を有する相を持つすべての系を捜し出したいというような使い方を
する場合には、ページを繰るだけでも長い時間を要しました。検索を
容易に行いたい、パソコン上のデータベースとして扱いたい、という
たくさんのご要望に応え、ASM Internationalでは全10巻の内容をデータ
ベース化し、CD-ROM版として発行することになりました。

このデータベースは3,317の系に関する15,000枚以上の状態図、
7,380の系の中間化合物に関する結晶構造データ、43,000件以上の文献
データ等を標準化して収録しています。

化学式、結晶系、ピアソンシンボル、スペースグループ、ユニット
セルの大きさ及び角度、密度、融点、著者名、発行年といった、様々
な角度から情報検索ができ、書籍版とは違った応用分野が開けます。

また、限られた系だけを利用される方のために、7組のサブセットも
準備され、お求め易くなっています。このような機能が活用され、新
しい研究分野の発展にこのCD-ROMが貢献できることを祈ります。

(朝日大学 教授 岡本紘昭)



【サブセットについて】

今回のCD-ROM化につきましては、下記のような各セクションごとに編集されており、完全版のほかに各セクション
の分売も行ないます。研究者の皆様にはご自分の関連の状態図を手頃な予算でご入手いただけます。

- A. Complete Handbook of Ternary Alloy Phase Diagrams
- B. Industrial and Heat Resistant Alloys.....Fe, Ni, Co, Cr, Mo, W, V, Nb, Mn, Hf
- C. Light Metal Structural Alloys.....Al, Be, Mg, Ti
- D. Precious Metals.....Au, Ag, Pt, Pd, Ir, Os, Rh, Ru
- E. Rare Earths and Actinides.....all of the rare earths(Including Y and Sc)and actinide series
- F. Carbides and Nitrides.....C and N
- G. Solders, Brazes, and Copper Alloys.....Pb, Bi, Ag, Au, Sb, In, Ga, Cd, Zn, Cu, Sn
- H. Electronic Materials and Semiconductors.....Au, Si, Ge, As, Ir, Bi, Ti, Sb, Te, Se, Al, Ga

【価格】

- A. (完全版) ¥ 613,800~¥ 1,556,100
- B.~H. (分売) 各¥ 100,800~¥ 513,000

本CD-ROMの価格はユーザー人数に応じて設定されています。詳細につきましては弊社特販部までお問い合わせ下さい。

ASM International 日本総代理店  株式会社ニュートリノ

本社 : 〒182 東京都調布市布田1-44-3 高橋ビル TEL (0424) 84-5550
FAX (0424) 84-5556 e-mail : neutrino@st.irim.or.jp

1997年 7月 通巻第362号 洋書輸入協会
〒103 東京都中央区日本橋1-21-4 千代田会館5階20号室

編集者 神田 俊二
☎(03)3271-6901 FAX.(03)3271-6920

印刷所=藤本綜合印刷株式会社